

2019年3月期 通期決算説明会

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITTO 日東工業株式会社

証券コード：6651

(2019年6月7日開催)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表記の都合上、公表している数字とは異なる場合があります。

NITTO 日東工業株式会社

1

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

目次

2019年3月期
通期

1 2019年3月期通期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

5 参考資料

1 2019年3月期通期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

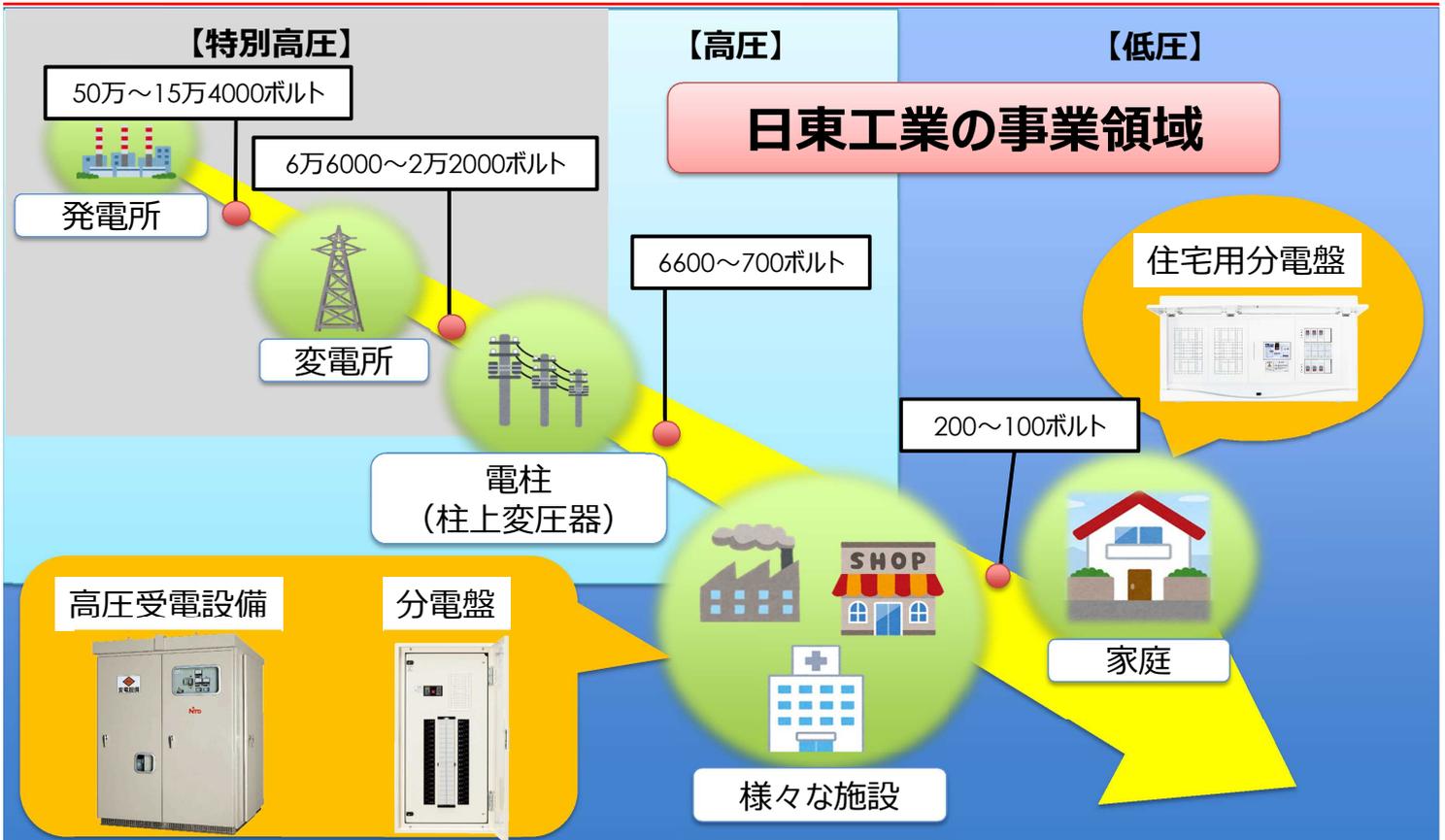
5 参考資料

通期 連結決算ハイライト

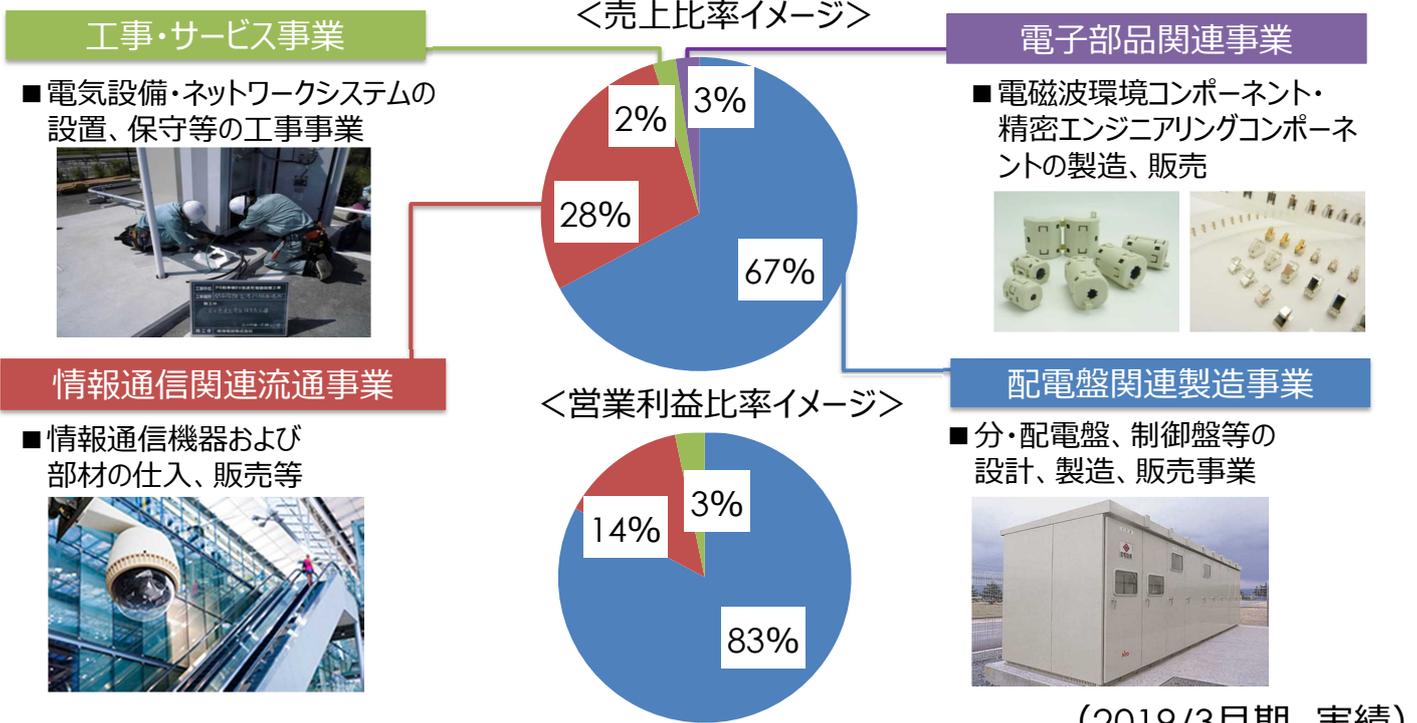
- ・ 連結業績は増収増益。業績計画に対して、売上高は達成するも利益面は未達
- ・ 連結売上高は、全ての既存セグメントが増収となった結果、過去最高を更新
加えて、当第4四半期連結会計期間に新たに子会社化した北川工業が売上増加に寄与
- ・ 各利益項目は、日東工業単体の増収による限界利益の増加や価格改定の影響などにより増益（北川工業は、連結初年度の特殊要因により利益面ではマイナス影響）

(単位：百万円)

決算期	2018/3		2019/3		
	実績	計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	108,080	112,000	116,984	+8.2%	+4.5%
営業利益	5,751	7,000	6,472	+12.5%	△7.5%
経常利益	5,625	6,900	6,405	+13.9%	△7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,883	4,200	4,046	+40.4%	△3.7%



配電盤関連製造事業が売上の約7割、利益の約8割を占める



通期 セグメント別 決算ハイライト

2019年3月期
通期

- 配電盤関連製造事業は、国内建設需要等、堅調であった内需の当業界への波及や、価格改定効果などにより増収増益
- 情報通信関連流通事業は、太陽光関連製品の売上は減少するも、ネットワーク機器などの売上が堅調に推移し増収。一方、固定費の増加などにより減益となったが、売上・利益ともに想定を上回る
- 工事・サービス事業は、電気設備工事等の案件獲得により増収、また他セグメントへの売上増加により増益
- 電子部品関連事業を新設
(当第4四半期連結会計期間に子会社化した北川工業およびその子会社で構成しているセグメント)

セグメント別	2018/3	2019/3				
	実績	計画	実績	前期比増減率	計画比増減率	
売上高	配電盤関連製造事業	74,053	77,200	78,569	+6.1%	+1.8%
	情報通信関連流通事業	31,619	32,300	32,910	+4.1%	+1.9%
	工事・サービス事業	2,407	2,500	2,719	+12.9%	+8.8%
	電子部品関連事業	-	-	2,785	-	-
	合計	108,080	112,000	116,984	+8.2%	+4.5%
営業利益	配電盤関連製造事業	4,603	-	5,543	+20.4%	-
	情報通信関連流通事業	1,033	-	932	△9.8%	-
	工事・サービス事業	112	-	218	+94.4%	-
	電子部品関連事業	-	-	△235	-	-
	合計	5,751	-	6,472	+12.5%	-

通期 配電盤関連製造事業 (部門別売上高)

2019年3月期
通期

- 既存市場の配電盤やキャビネットなどの売上が増加したほか、下期より実施した価格改定効果などにより増収
- パーツ・その他部門は、前第3四半期連結会計期間に子会社化したECADソリューションズが売上増加に寄与し増収

部門別 売上高	2018/3	2019/3				
	実績	計画	実績	前期比増減率	計画比増減率	
配電盤関連製造事業	配電盤	41,395	42,100	43,332	+4.7%	+2.9%
	キャビネット	22,019	23,600	23,561	+7.0%	△0.2%
	遮断器・開閉器	5,204	5,300	5,304	+1.9%	+0.1%
	パーツ・その他	5,433	6,200	6,370	+17.2%	+2.7%
合計	74,053	77,200	78,569	+6.1%	+1.8%	
連結全体合計	108,080	112,000	116,984	+8.2%	+4.5%	
連結売上構成比	68.5%	68.9%	67.2%	△1.3%	△1.7%	

通期 連結営業利益の増減要因

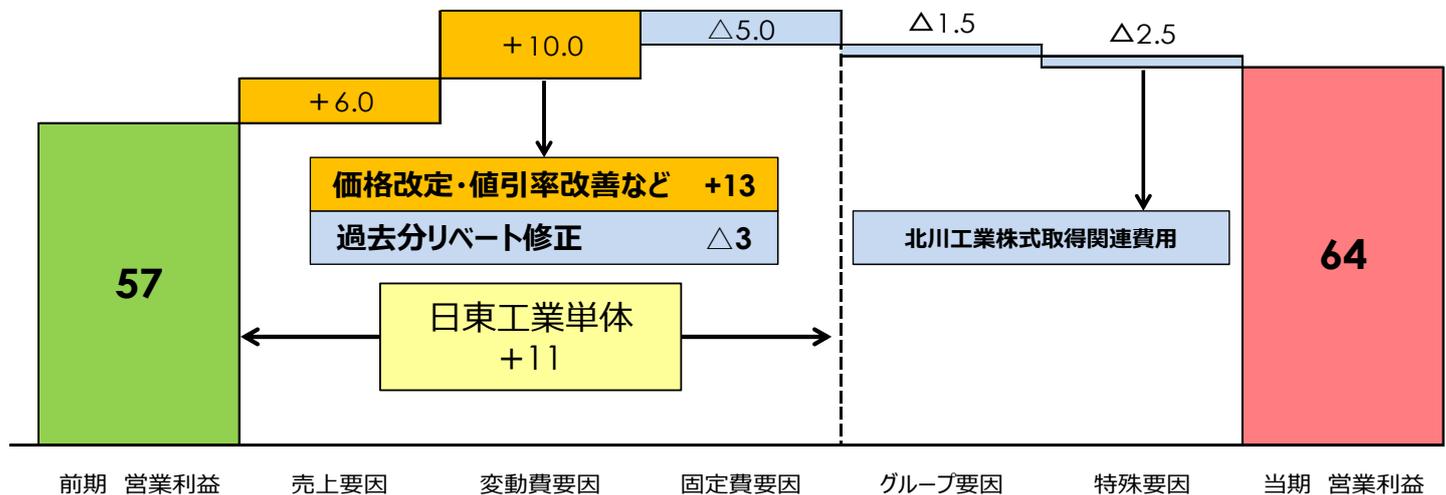
2019年3月期
通期

- 日東工業単体要因では、人件費等の増加により固定費は悪化するも、売上増加による限界利益の増加や、価格改定および値引率の改善（変動費要因）などにより増益となる
- グループ要因では、大洋電機製作所の増益や海外子会社ののれん償却費が減少したものの、サンテレホンや新愛知電機製作所が減益となったことにより全体としては微減となる
- 特殊要因では、北川工業の子会社化に伴う株式取得関連費用の計上により、利益を押し下げる結果となる

(単位：億円)

【2018/3月期 実績】

【2019/3月期 実績】



通期 連結キャッシュ・フロー計算書

2019年3月期
通期

(単位：百万円)

	2018/3	2019/3	前期比増減額
現金及び現金同等物の期首残高	25,138	28,283	+3,145
営業活動によるCF	6,616	8,046	+1,430
投資活動によるCF	△1,882	△13,308	△11,426
財務活動によるCF	△1,716	16,048	+17,764
現金及び現金同等物の期末残高	28,283	38,934	+10,651

<主な増減内容>

■ 営業活動によるCF ・税引前利益の増加 +1,061 ・売上債権増減額の差異 +1,466 ・仕入債務増減額の差異 +747 ・法人税等の支払額増加 △1,645 ・のれん償却額の減少 △1,568	■ 投資活動によるCF ・定期預金の預入による支出の減少 +957 ・子会社株式取得による支出の増加 △12,014 ■ 財務活動によるCF ・主に北川工業株式取得に係る資金調達のための短期借入金の増加 +17,566
---	---

※数値は前期比増減額

- ・ 北川工業およびその子会社10社を連結したことに伴い、資産負債が増加している
- ・ 北川工業株式取得費用として、短期借入金17,500百万円を調達

(単位：百万円)

	2018/3	2019/3	増減	主な増減要因
流動資産	67,684	95,507	+ 27,823	■ 資産 ・現金及び預金の増加 (+ 18,490) ・売上債権の増加 (+ 4,183) ・のれんの増加 (+ 2,812)
固定資産	36,202	46,464	+ 10,262	
資産合計	103,886	141,971	+ 38,085	
流動負債	19,790	40,629	+ 20,839	■ 負債 ・短期借入金の増加 (+ 17,658) ・繰延税金負債の増加 (+ 1,205)
固定負債	1,034	2,753	+ 1,719	
負債合計	20,825	43,382	+ 22,557	
純資産合計	83,061	98,588	+ 15,527	・当期純利益 (+ 4,046) ・配当 (△1,618) ・非支配株主持分の増加 (+ 13,512)
負債純資産合計	103,886	141,971	+ 38,085	

1 2019年3月期通期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

5 参考資料

2019年1月、T O B（株式公開買付け）成立により、北川工業を子会社化

【会社概要】

会社名	北川工業株式会社
設立年月日	1963年6月12日
資本金	27億7,000万円
従業員数	525名（国内253名、アメリカ14名、ドイツ19名、中国133名、シンガポール15名、タイ57名、台湾23名、香港11名）
事業所	国内5箇所（稲沢、春日井、東京、大阪、宇都宮）、海外10箇所（アメリカ、ドイツ、中国、シンガポール、タイ、台湾、香港）
事業内容	コンピュータ・OA機器・家電製品・自動車・建築物などさまざまな分野で用いられる E M C 対策部品やプラスチック成型技術を生かした精密部品の製造・販売

E M C 対策部品

電子機器の誤作動など様々な悪影響を及ぼす電磁波への対策技術

【フェライトコア】



【ケーブルシールド】



ファスニング

様々な分野において機器内の基盤・ケーブル類を固定、保護するプラスチックファスナー

【クランプ】



【バンド】



機能性製品

制音性、耐久性、快適性による差別化を可能にする振動・衝撃・騒音・熱設計技術

【熱設計製品】



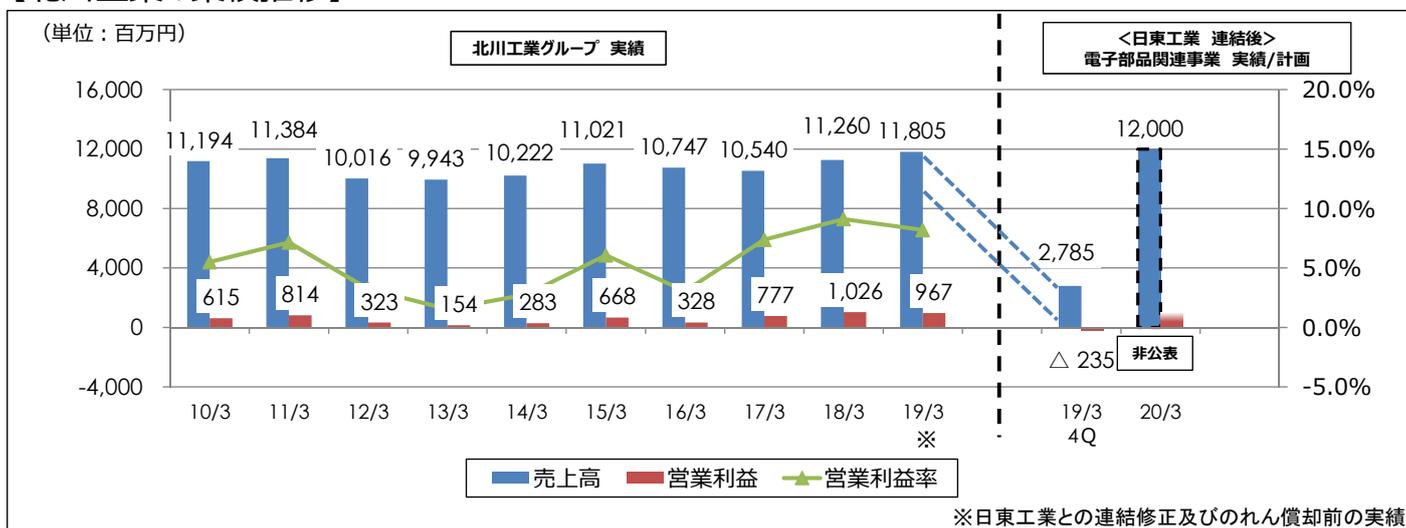
【防音・緩衝・制音製品】



【北川工業連結影響】業績推移

- 北川工業の2019年3月期実績は、売上高11,805百万円、営業利益967百万円となる
- 2019年3月期の連結売上高への影響額は、2,785百万円となる
- 2019年3月期の連結営業利益への影響額は、北川工業の利益を上回る『のれん』の償却等の影響により、△235百万円となる（当第4四半期連結会計期間に子会社化）
- 2020年3月期は『のれん』の償却を上回る利益を計上する見込み
- 北川工業株式取得等に係る費用255百万円は、配電盤関連製造事業の費用として計上している

【北川工業の業績推移】



※日東工業との連結修正及びのれん償却前の実績

※四捨五入の関係で数字が一致しないことがあります。

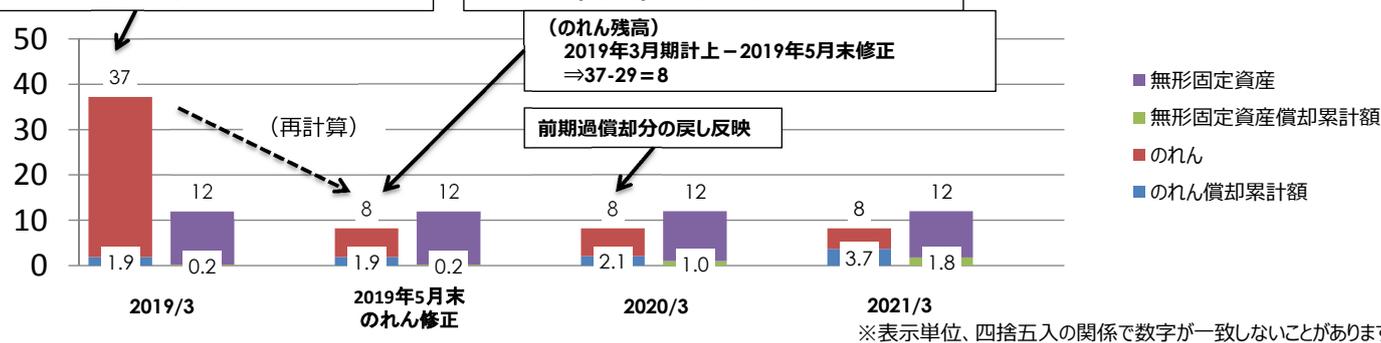
- 北川工業の2019年1月 時価ベースの純資産を272億円と評価
- 2019年3月期は北川工業完全子会社化の途中段階であり、一時的に『のれん』を37億円計上している
- 2020年3月期以降は、取得費用280億円から時価ベースの純資産272億円の差額 8億円を『のれん』として計上する（5年償却）
- 上記の『のれん』とは別に、無形固定資産（顧客関連資産）を12億円計上（15年償却）

【北川工業買収スキーム】 発行済株式総数：8,778千株（自己株除く） ※2019年1月時点

	時点	内容	取得株数（千株）	単価	取得価額（億円）	議決権保有割合	議決権保有割合に対する純資産（億円）
①	2019/3月期 3Q	TOB	4,438	@3,943	175	50.6%	138
②	2020/3月期 1Q	特定の株主より自己株取得	4,025	@2,321	93	45.9%	125
		端株買取	314	@3,943	12	3.5%	9
	合計		8,778	@3,200	280	100.0%	272

① TOB実施により議決権50.6%を取得
のれん：取得価額 - (純資産×50.6%)
⇒175 - 138 = 37

②実施により議決権49.4%を追加取得（完全子会社）
のれん：取得価額 - (純資産×49.4%)
⇒(93+12) - 134 = △29



目次

1 2019年3月期通期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

5 参考資料

通期連結業績予想

2019年3月期
通期

- 通期連結業績は増収増益を計画（連結売上高は2期連続過去最高を見込む）
- 増収増益は主に日東工業単体の価格改定や北川工業の連結効果によるもの

(単位：百万円)

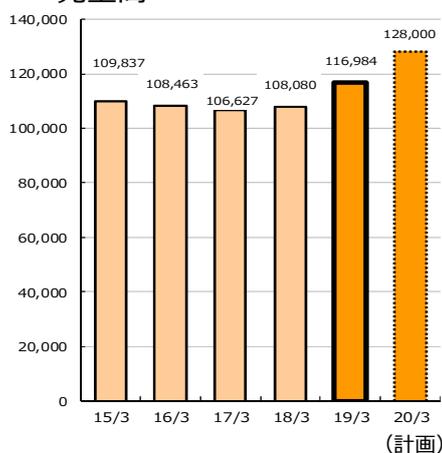
決算期	2019/3		2020/3			
	2Q実績	通期実績	2Q計画	前期比増減率	通期計画	前期比増減率
売上高	51,742	116,984	60,000	+16.0%	128,000	+9.4%
営業利益	2,030	6,472	3,400	+67.5%	9,000	+39.0%
経常利益	2,030	6,405	3,400	+67.5%	9,000	+40.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,181	4,046	2,800	+137.0%	6,500	+60.6%

過去5年 連結経営成績

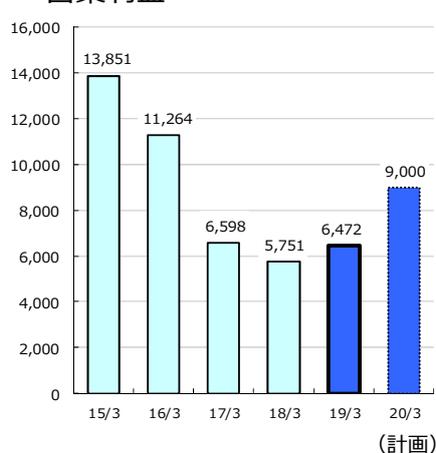
2019年3月期
通期

- 2019年3月期の売上高は過去最高を更新
- 2020年3月期は3期連続の増収、2期連続の増益を見込む

■ 売上高

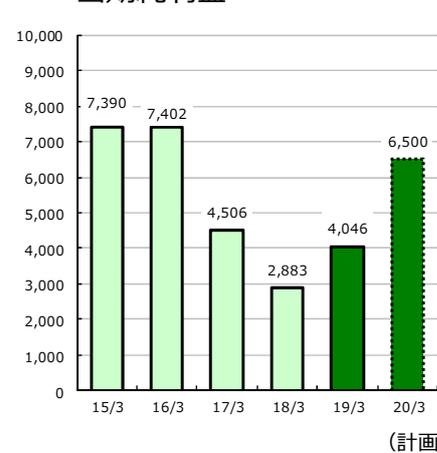


■ 営業利益



■ 当期純利益

(単位：百万円)



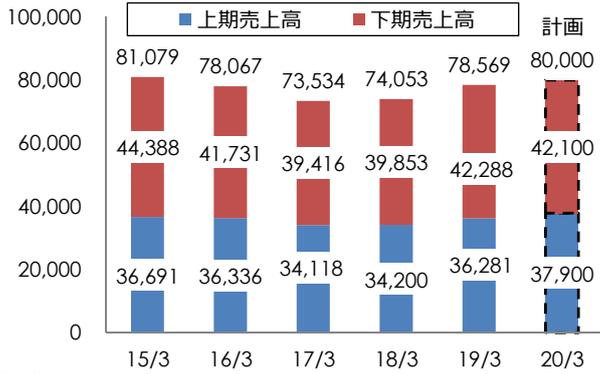
	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3(計画)
売上高	109,837	108,463	106,627	108,080	116,984	128,000
営業利益	13,851	11,264	6,598	5,751	6,472	9,000
当期純利益	7,390	7,402	4,506	2,883	4,046	6,500

業績予想 セグメント別（配電盤関連製造事業）

2019年3月期
通期

◆配電盤関連製造事業 【通期予想】売上高 80,000百万円（前期比 +1.8%）

(単位：百万円)



【通期予想】

・日東工業単体は価格改定効果などから増収を見込み、セグメント全体でも増収を計画

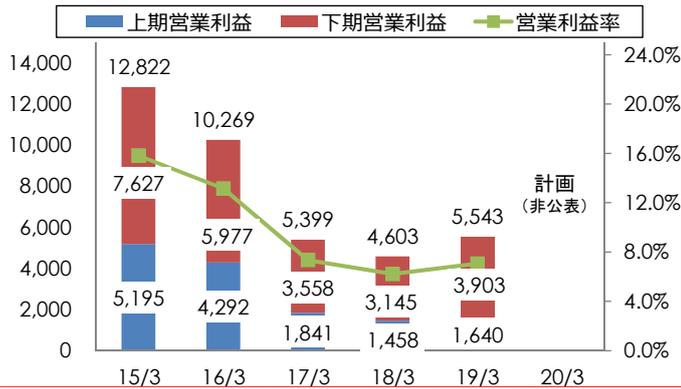
【取り組み】

・熱関連機器を軸としたソリューション提案に注力
・Gathergates社の高利益案件の受注推進および生産コスト削減や、BANGKOK SHEET METAL社との連携強化

【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	日東工業(株)			大
	(株)新愛知電機製作所			小
	(株)大洋電機製作所			小
	(株)E C A Dソリューションズ			小
海外	日東工業（中国）有限公司			小
	Gathergates Group Pte Ltd			小
	NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTD			小

(単位：百万円)

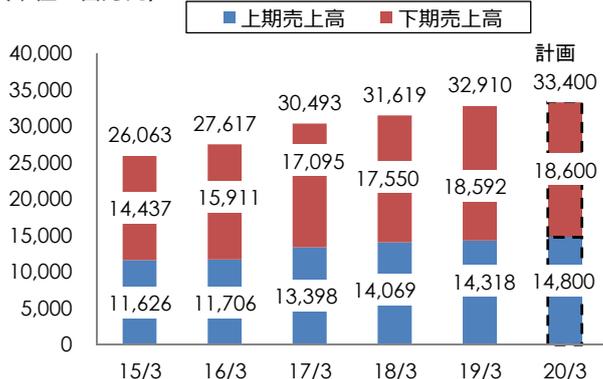


業績予想 セグメント別（情報通信関連流通事業）

2019年3月期
通期

◆情報通信関連流通事業 【通期予想】売上高 33,400百万円（前期比 +1.5%）

(単位：百万円)



【通期予想】

・太陽光関連商材の売上は減少傾向が続く見通し
・オリンピック需要や堅調なデータセンター市場の影響から、主力のネットワーク関連商材の売上増加により増収を見込む

【取り組み】

・首都圏再開発やオフィス移転、オリンピック案件の獲得
・次世代通信規格5G関連市場での案件獲得活動

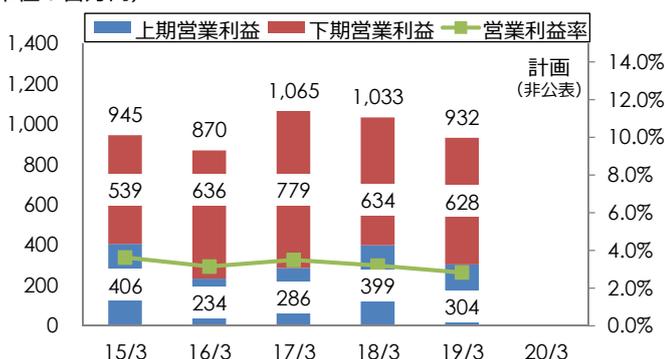
【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	サンテレホン(株)			中

※本セグメントは、サンテレホン(株)及びその子会社のみ

※今回より、記載する主要グループ会社を見直しています

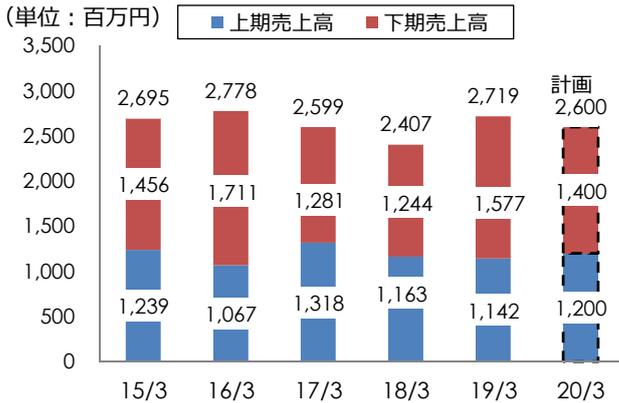
(単位：百万円)



業績予想 セグメント別（工事・サービス事業）

2019年3月期
通期

◆工事・サービス事業 【通期予想】売上高 2,600百万円（前期比 △4.4%）

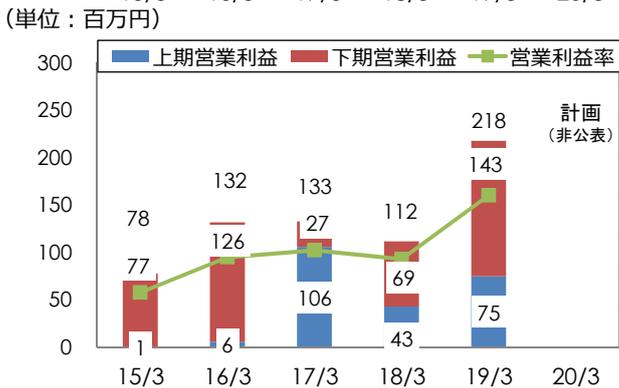


【通期予想】

- ・主力の通信設備工事・電気設備工事は弱い動き
- ・キュービクル・配電盤関連工事による売上増加を見込む

【取り組み】

- ・日東工業との連携を強化し、更なるシナジーの創出に注力
- ・防災関連サービスの提案活動を推進



【主要グループ会社：通期見通し】

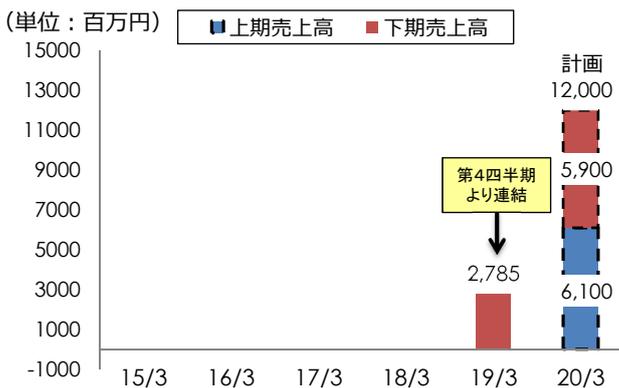
	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	南海電設㈱			小

※本セグメントは南海電設㈱のみ

業績予想 セグメント別（電子部品関連事業）

2019年3月期
通期

◆電子部品関連事業 【通期予想】売上高 12,000百万円（前期比 +330.8%）

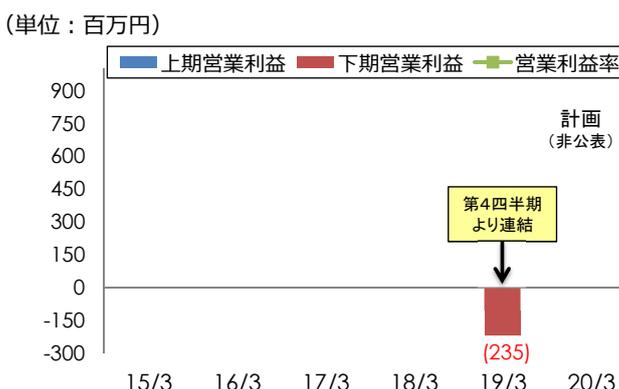


【通期予想】

- ・北川工業グループの業績が通期で寄与し大幅増収を見込む

【取り組み】

- ・EV・HV・PHEV等の環境自動車市場への電磁波対策部品を軸としたソリューション製品提案
- ・次世代通信規格5G関連市場での事業拡大（通信基地局、WIFI製品）



【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	北川工業㈱			中

※本セグメントは北川工業㈱およびその子会社のみ

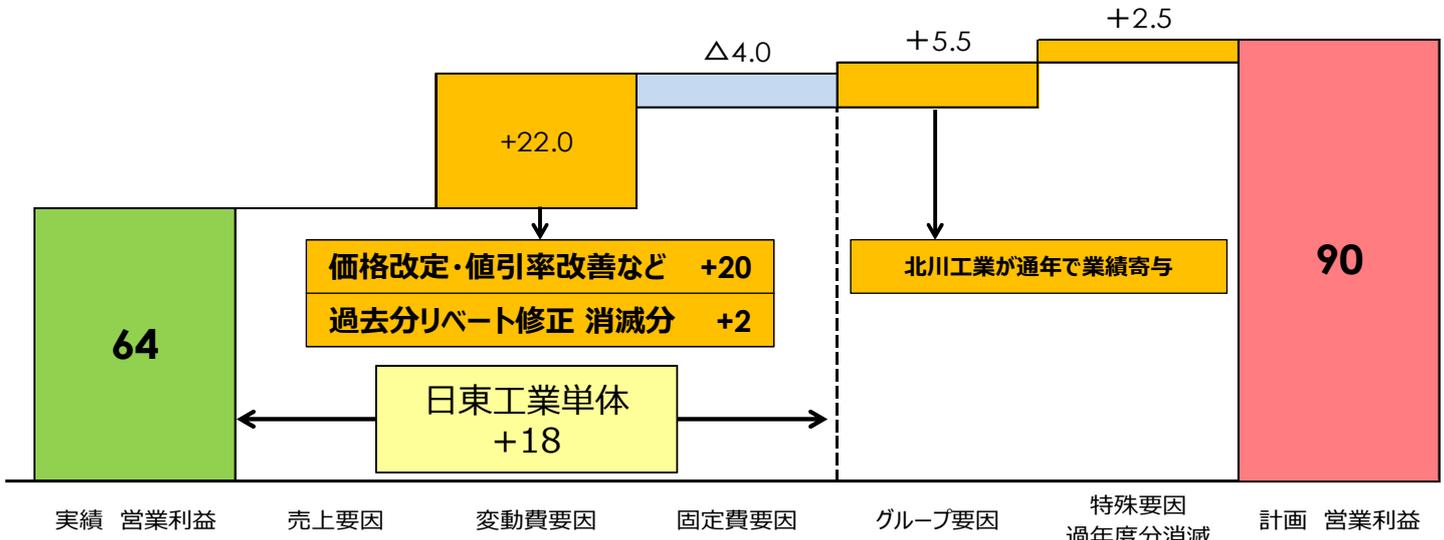
通期連結営業利益の増減要因（今期予想）

2019年3月期
通期

- 2020年3月期の連結営業利益は前期比39.0%増加の90億円を見込む
- 日東工業単体の価格改定や値引率の改善などが利益の押し上げ要因となる
- グループ要因では、北川工業の連結初年度における特殊要因が消滅し、通期で業績寄与を見込む

【2019/3月期 実績】

(単位：億円)
【2020/3月期 計画】



通期連結営業利益の増減要因推移

2019年3月期
通期

<日東工業単体>

- 売上要因 販売数量は増加傾向であったが、2020年3月期は横ばいを見込む
- 変動費要因 値引率 … 2019年3月期より改善傾向が続く見通し
価格改定 … 2019年3月期下期の改定以降、増益効果が継続
- 固定費 経費 … 一進一退の状況が続く
人件費 … 増加傾向が続く見通し

<グループ要因>

- グループ会社は厳しい状況が続いていたが、北川工業の業績寄与により2020年3月期は好転を見込む

(単位：億円)

↑: 押し上げ要因 ↓: 押し下げ要因			2018/3 実績	2019/3 実績	2020/3 計画
営業利益			57	64	90
前期比増減額			△8	+7	+26
増減要因	日東工業単体	売上要因	↑	↑	→
		変動費要因	↓	↑	↑
		固定費要因	↓	↓	↓
	グループ要因		↓	↓	↑

新エネルギー関連市場の売上動向

(日東工業単体参考)

2019年3月期
通期

- 2019年3月期実績は前期比86.8%で推移。前期比では減少しているものの、改正FIT法の影響により駆け込み需要が発生したことや、太陽光発電システムと蓄電池を連動するためのシステムに対応した住宅用分電盤の売上が増加したことなどにより、減少幅を縮小
- 2020年3月期の売上は前期比80%程度の40億円を見込む

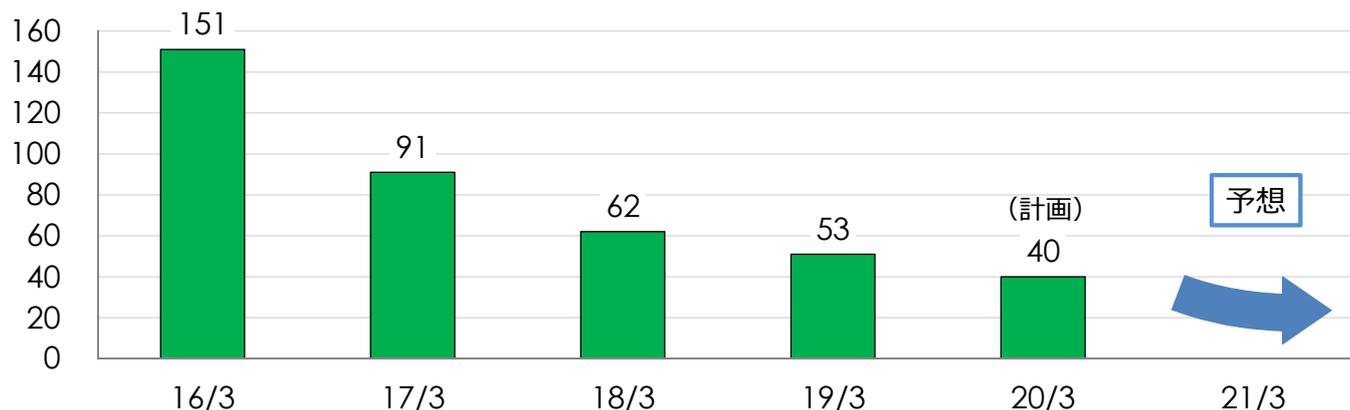
「新エネルギー関連市場」とは

- ①太陽光発電関連（接続箱、集電箱など）
- ②自動車関連（充電スタンド）
- ③その他：エネルギーマネジメントシステム関連など

※売上金額は日東工業単体の売上となり、グループの売上を含めておりません。また、グループ間相殺したものではありません。

(単位：億円)

＜新エネルギー市場関連 売上＞

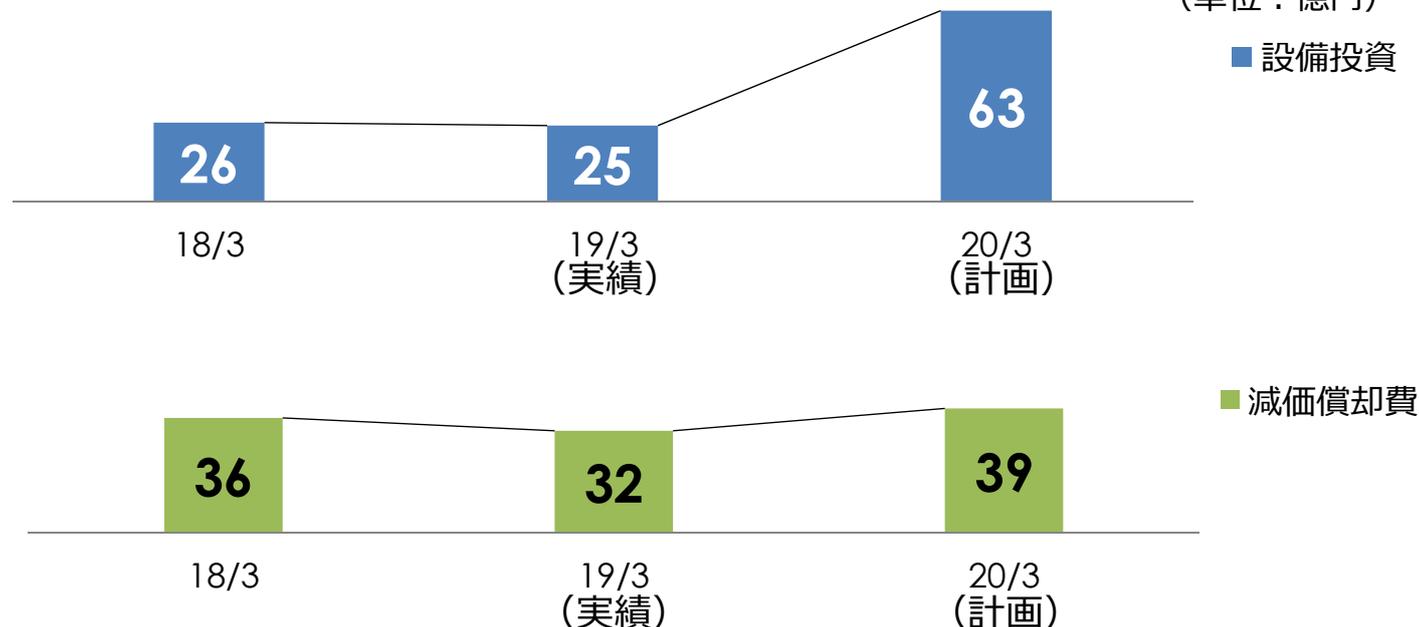


設備投資額、減価償却費

2019年3月期
通期

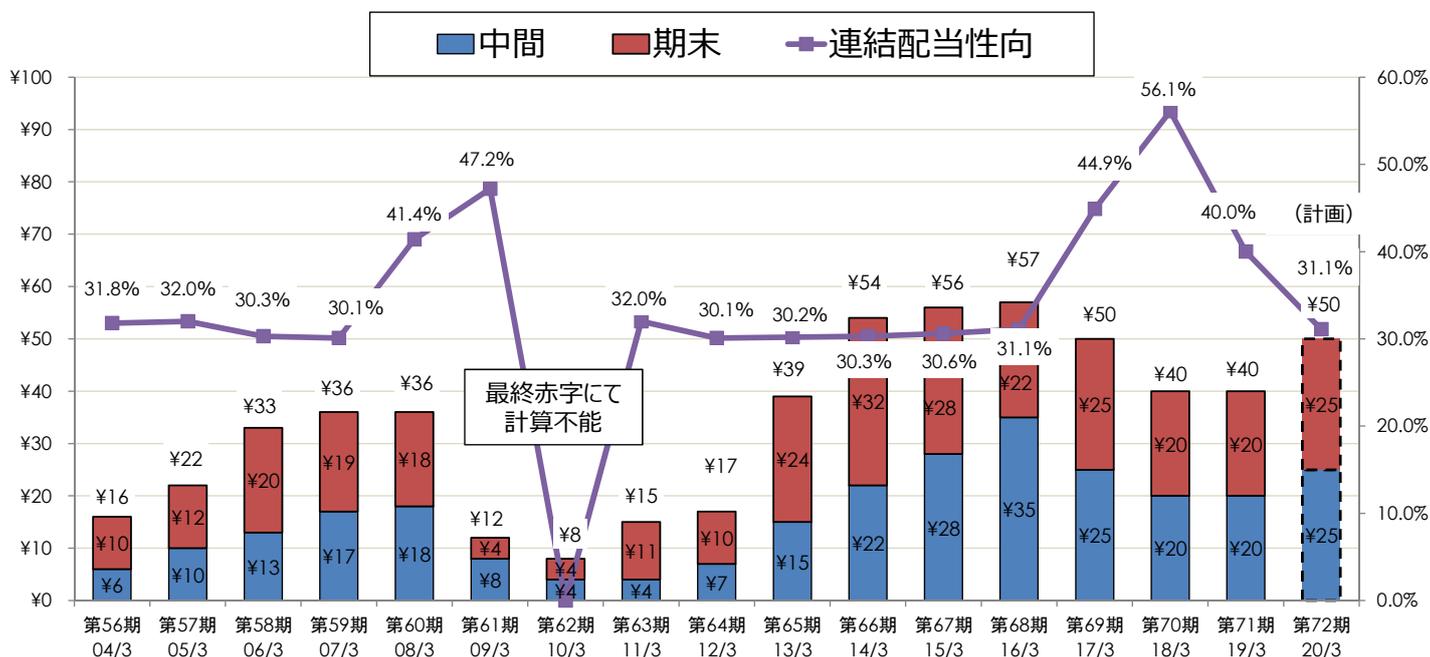
- 2020年3月期は、設備投資62.5億円、減価償却費38.5億円を計画
- 設備投資計画は、北川工業の新試験棟設立や日東工業の基幹システム更新、機械設備の更新などにより大幅増加予定

(単位：億円)



※1千万円単位を四捨五入しています

- 期末配当金は20円。通期配当金は40円、配当性向は40.0%となる
- 2020年3月期は、通期予想配当額は50円、連結配当性向は31.1%、4期ぶりの増配を計画



2020年3月期 業績予想 補足

- 足元の状況は非常に好調で生産も活況
- 但し、懸念要因が散見され不透明感も認められる

【好調要因】

- ✓ 国内建設需要等、堅調であった内需が、昨年度より当業界（電気工事関連）にも波及してきた
- ✓ 上記により、業界を取り巻く钣金外注等が多忙を極めており、短納期・高品質な当社標準品の需要が高まっている
- ✓ 熱中症対策として学校空調導入が喫緊の課題となっており、関連する案件が急増している（ピークは夏前後を想定しているが、夏以降もある程度の需要は残るものと想定）

【懸念要因】

- ✓ 米中貿易摩擦や英国のEU離脱、ファーウェイ離れなど、海外情勢に起因する先行き不透明感から、設備投資に足踏み感が出始めている
- ✓ 機械受注や工作機械受注など、景気の先行指標に減速感がみられ、FA関連需要は一部で影響が出始めている
- ✓ 当業界（電気工事関連）は当面は好調見込みであるが、国内建設需要等は既に一服感がみられ、好調要因がいつまで継続するか判然としない

1 2019年3月期通期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

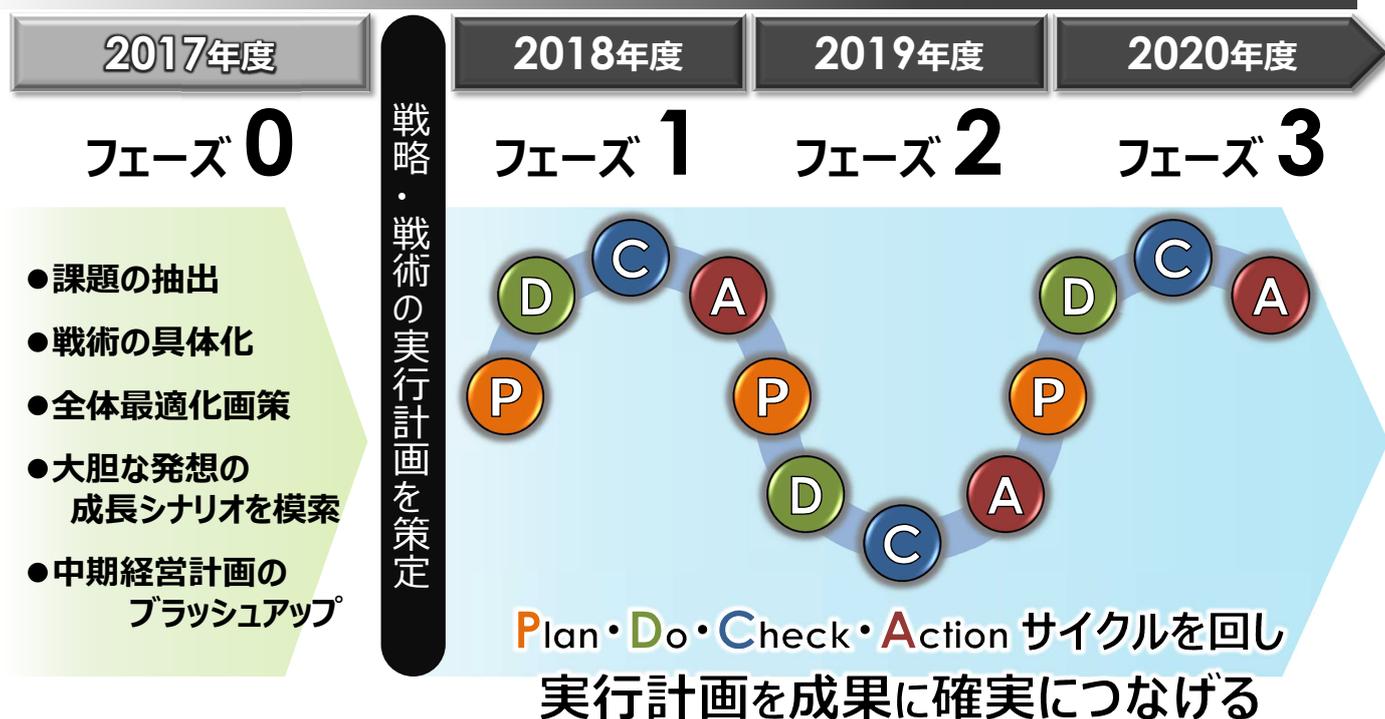
3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

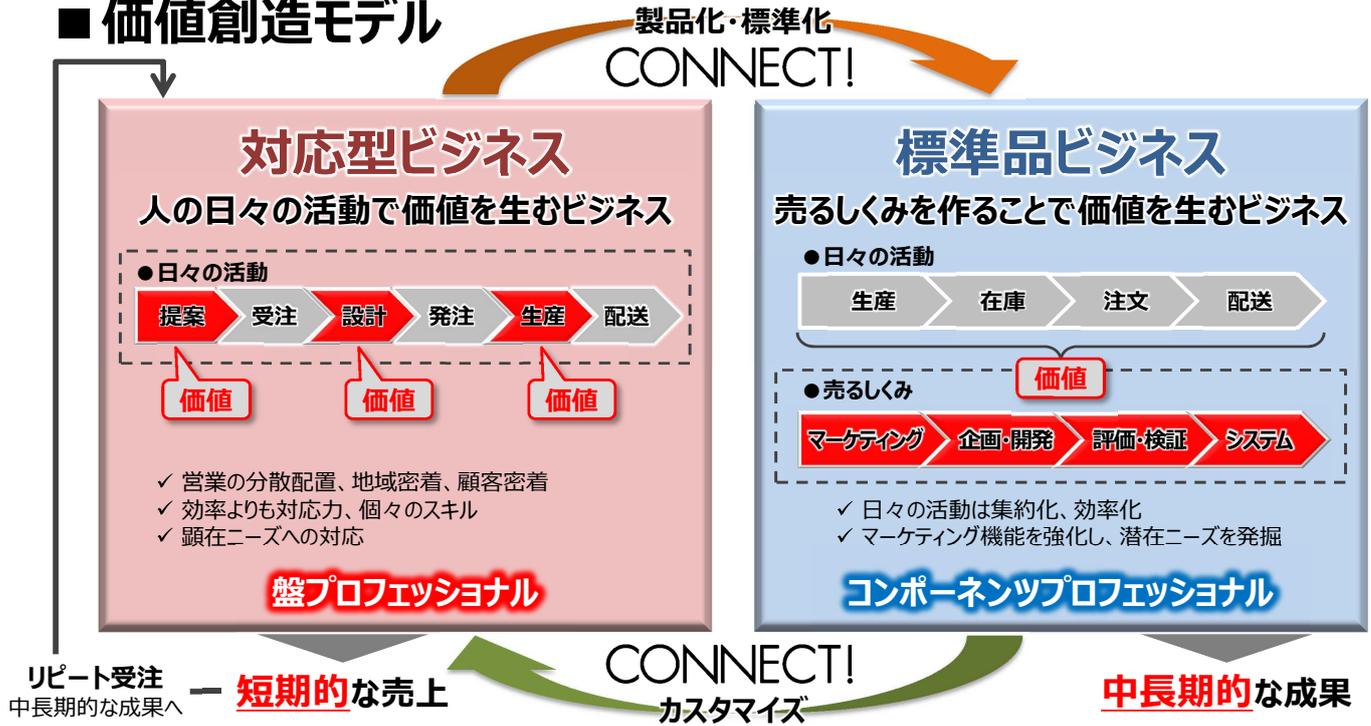
5 参考資料

2020中期経営計画 4か年計画

2020中期経営計画



■ 価値創造モデル

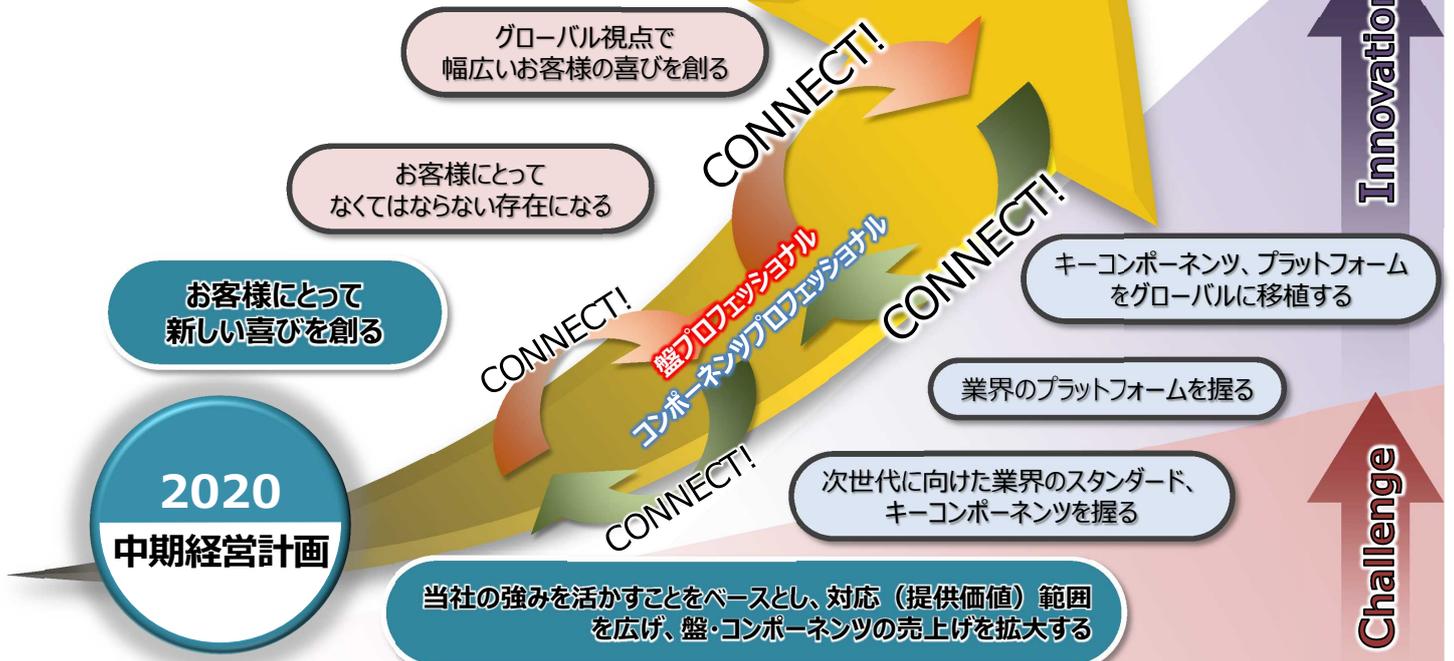


両ビジネスをバランスよく成長させ、高収益を持続

長期ビジョン 次世代ビジネスモデルへのシナリオ

次世代のビジネスモデル

盤プロフェッショナル・コンポーネントプロフェッショナル
新たな分野へ CONNECT!



スローガン

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

長期ビジョン

信頼、技術、貢献

～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

盤プロフェッショナル

コンポーネントプロフェッショナル

新たな分野へ CONNECT!

2020中期経営計画

挑戦 次世代のビジネスモデルへ

2016中期経営計画

顧客志向企業としての能力を卓越させる

実現に向け、柱となる

6つの戦略テーマ

2020中期経営計画 戦略テーマ

	戦略テーマ	ビジョン
事業戦略	1. コア事業競争力の追求（技術力、製品提案力強化）	
	I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]	盤関連事業の対応力をきわめ、 頼られるベストパートナーを目指す
	II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]	産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる
	2. グローバル化（東南アジアにおける配電盤事業の確立）	
	III 海外事業	海外で活躍する産業インフラ関連企業に 喜びを与える企業になる
	3. 新規ビジネスの展開（新たな技術・企業との融合）	
基盤強化	IV 新規事業	失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する
	4. 生産体制・経営基盤の強化	
	V 生産体制強化	お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し 改善・改革にチャレンジする
	VI 経営管理基盤強化	日東工業グループの事業戦略を支える 経営管理基盤を確立する

2020中期経営計画 業績目標

2019年3月期
通期

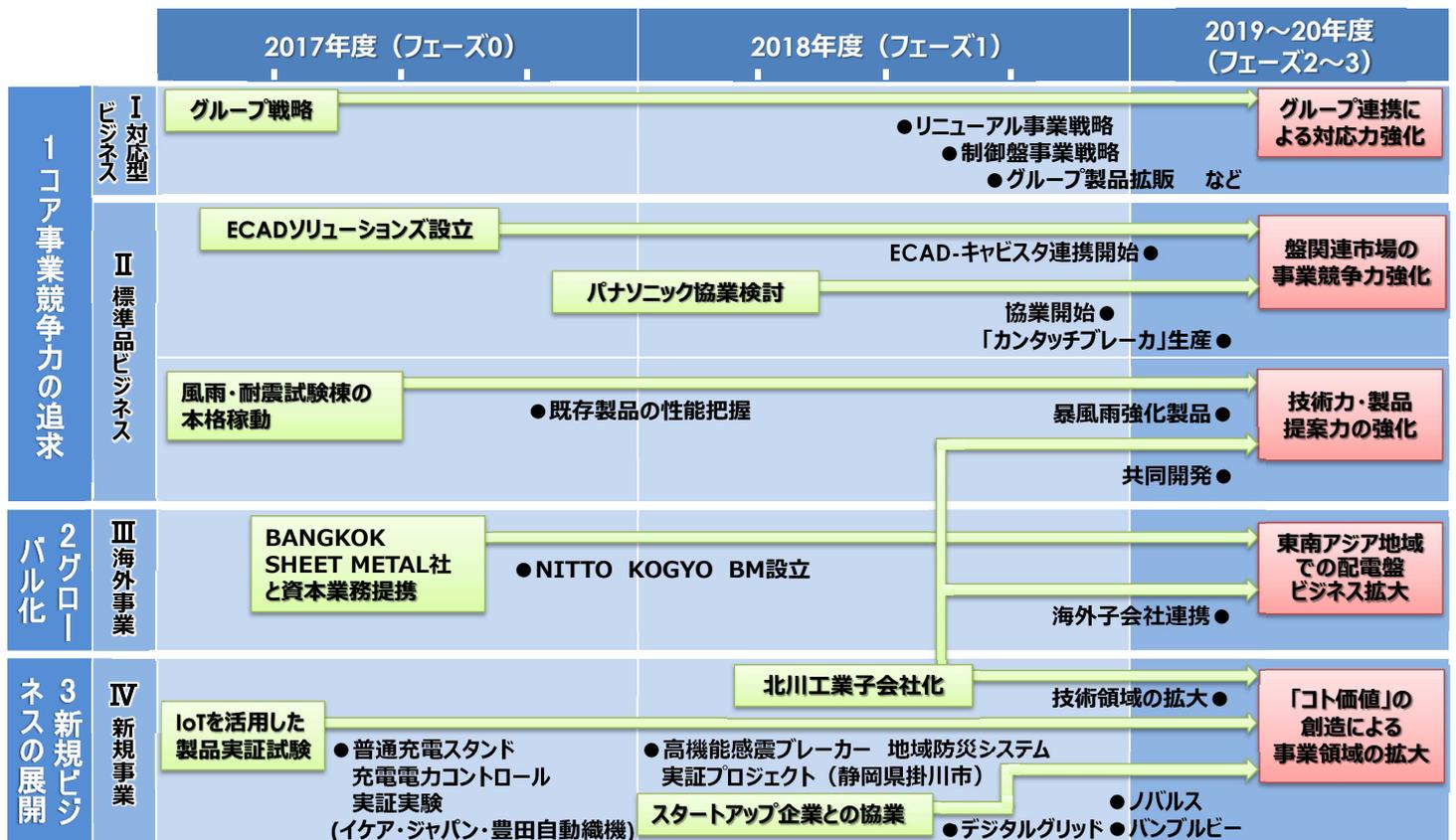
(単位：億円)

	2016年度 実績 (計画策定時)	2018年度 実績	2019年度 計画	2020年度 目標
連結売上	1,066	1,169	1280	1,250
(内 単体売上)	674	713	730	750
対応型ビジネス	465.5	481.1	480.0	470.0
標準品ビジネス	207.0	230.2	247.0	240.0
新規事業	1.5	1.7	3.0	40.0
(内 情報通信関連流通事業)	(305)	(329)	(334)	(350)
(内 海外事業)	(40)	(41)	(-)	(70)
連結営業利益	65	64	90	100
(内 単体営業利益)	50	55	73	75

- ・中期経営計画の目標である「連結売上」1,250億円は、北川工業(株)の寄与により1年前倒しで達成を見込む
- ・中期経営計画の目標である「連結営業利益」100億円達成に向けて、引き続きグループ一体となって中期経営計画に取り組む
- ・「海外事業」は、北川工業の海外事業の内容等を精査中のため2018年度実績には同社を含めておらず、2019年度計画は非公表
- ・「新規事業」は、EVインフラ事業をはじめ、コト価値の創造に注力しているが、実証実験のフェーズがしばらく続く想定される

事業戦略の進捗状況 (1/5)

2019年3月期
通期



事業戦略

コア事業 / I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]

ビジョン：盤関連事業の対応力をきわめ、頼られるベストパートナーを目指す

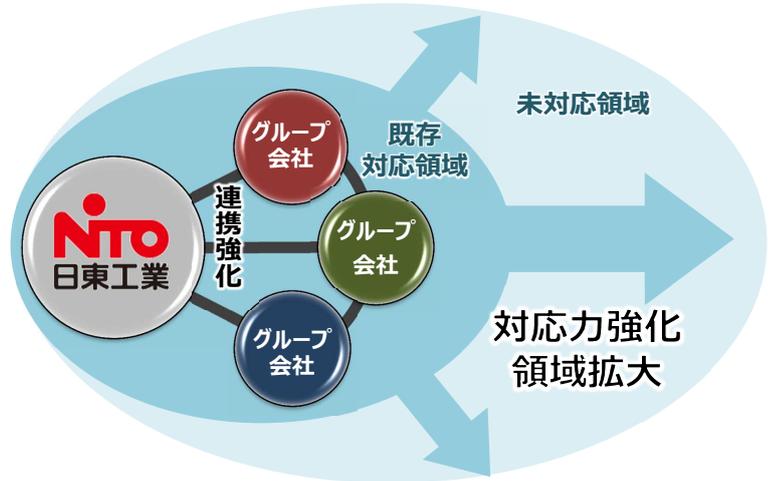
グループ連携による対応力強化

フェーズ0~1

- ◆ グループ戦略の立案
 - ✓ グループ会社の得意領域・ノウハウ・技術を活かした具体的な戦略を策定

今後の展開(フェーズ2~3)

- ✓ グループ全体で戦略を実行し、対応力強化、対応領域を拡大する
- ・ リニューアル事業戦略
- ・ 制御盤事業戦略
- ・ グループ製品の拡販 など



事業戦略

コア事業 / II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]

ビジョン：産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

盤関連市場の事業競争力強化

フェーズ0~1

- ◆ ECAD-キャビスタ連携開始 (2019/4)
 - ✓ 電気設計CAD「ECADシリーズ」とWeb穴加工サービス「キャビスタ」を連携させ、顧客満足度を向上させる
- ◆ パナソニックとの協業開始 (2019/3)
 - ✓ お互いの経営資源を有効活用し、配電盤事業等においてより付加価値の高い製品・サービスを提供する

今後の展開(フェーズ2~3)

- ✓ 自動設計技術の更なる進化により、顧客利便性の向上につなげる(ECAD)
- ✓ 2019年度中 パナソニックが販売する「カンタッチブレーカ」の生産開始。その他、配電盤製品の一部についても生産委託を開始予定

技術力・製品提案力の強化

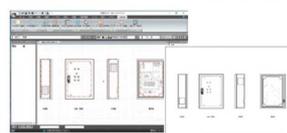
- ◆ 風雨・耐震試験棟の本格稼動 (2017/9)
 - ✓ 過酷な設置環境に対する性能検証方法の確立
 - ✓ 既存製品の性能把握
 - ⇒ 暴風雨強化製品
- ◆ 北川工業の子会社化 (2019/1)
 - ⇒ FA市場向け製品の共同開発を検討

株式会社ECADソリューションズ

株式会社ワコムが電気CAD事業(エンジニアリングソリューション事業)は新設分割により日東工業グループの一員となりました。(2017年12月1日付)

ECAD®

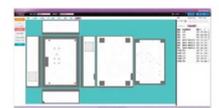
国内導入実績No.1の電気設計専用CAD



NITO 日東工業株式会社

キャビネット [キャビスタ]

電気機器収納用キャビネットのトップメーカー
穴加工図面作成Webシステム『キャビスタ』



DIRECTLY COOPERATE
ダイレクト
に連携

事業戦略

Ⅲ 海外事業

ビジョン：海外で活躍する産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大

フェーズ0

- ◆ タイ現地メーカー(BANGKOK SHEET METAL社)と資本業務提携(2017/11)
 - ✓ 東南アジア市場における、配電盤事業体制の構築

フェーズ1

- ◆ 北川工業の子会社化(2019/1)
 - ✓ 北川工業の海外子会社と連携し、海外市場開拓を加速させる

今後の展開(フェーズ2~3)

- ✓ 日東工業、Gathergates社(シンガポール)の配電盤・キャビネットの製品開発力と、BANGKOK SHEET METAL社(タイ)の優れた製造技術を融合させる



事業戦略

Ⅳ 新規事業

ビジョン：失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する

「コト価値」の創造による事業領域の拡大

フェーズ0

- ◆ IoTを活用した製品実証実験開始
 - ✓ 高性能感震ブレーカーによる実証実験(掛川市:地域防災システム)
 - ✓ 普通充電スタンドによる充電電力コントロール実証実験(イクア・ジャパン株式会社、株式会社豊田自動織機)

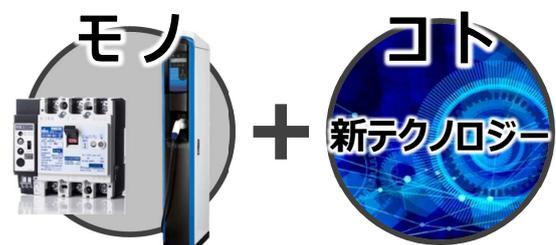
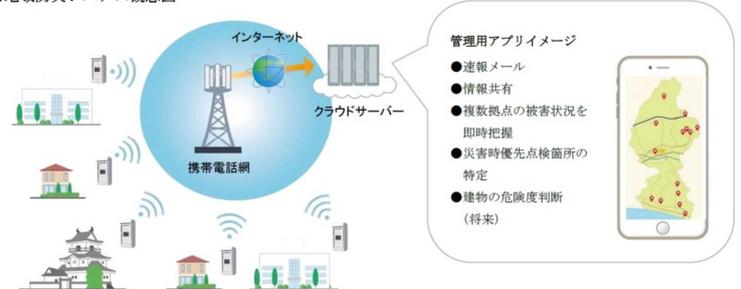
フェーズ1

- ◆ スタートアップ企業との協業
 - ✓ 電力識別技術...デジタルグリッド社
 - ✓ 通信機能付き乾電池...ノバルス社
 - ✓ スマート宅配システム...バンブリー社
- ◆ 北川工業の子会社化(2019/1)
 - ✓ 技術領域の拡大

今後の展開(フェーズ2~3)

- ✓ 事業化に向け、実証販売へと進展させる
- ✓ IoT技術を組み込んだ製品の開発を推進する
- ✓ 製品で得られるデータを活用した新たなサービスを創出し、事業化を目指す
- ✓ スタートアップ企業各社と新規事業に向けた実証実験を進める

■地域防災システム概念図



- 1 2019年3月期通期決算概要
- 2 トピックス：北川工業連結影響
- 3 通期連結業績予想
- 4 中期経営計画について
- 5 参考資料

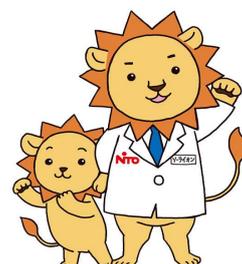
ご清聴ありがとうございました

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITO 日東工業株式会社

証券コード：6651



【事業セグメント：配電盤関連製造事業】

2019年3月期
通期

■分・配電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業

日東工業株式会社	分・配電盤、キャビネット等の製造、販売
主要グループ会社	主要製品・事業内容
株式会社新愛知電機製作所	電気用諸機械器具の設計、製造、販売、修理等
株式会社大洋電機製作所	産業機械用制御システム、ソフトウェア等の製造、販売
株式会社E C A Dソリューションズ	電気設計、ハーネス設計専用C A Dシステムの開発、販売
日東工業（中国）有限公司	キャビネット・パーツ類等の製造、販売
Gathergates Group Pte Ltd	分・配電盤、制御盤、メーターボックス製造、販売
NITTO KOGYO BM(THAILAND)CO.,LTD	当社製品の輸入品販売および現地生産品販売、日本・海外企業製品の仕入販売

配電盤



高圧受電設備



分・配電盤



ブレーカ



パーツ・その他



充電スタンド

キャビネット



キャビネット



システムラック

事業セグメント：情報通信関連流通事業

2019年3月期
通期

■情報通信機器および部材の仕入、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
サンテレホン株式会社	情報通信機器の仕入、販売



ネットワークカメラ

それぞれのシステムに合わせた最適な監視システム機器の仕入、販売



高速ネットワーク機器

無線・有線を効率的に使い分けた通信インフラの構築機器の仕入、販売



情報セキュリティ関連製品

様々な情報リスクに対して対策を講じる、トータルセキュリティ機器の仕入、販売

事業セグメント：工事・サービス事業

2019年3月期
通期

■ 電気設備、ネットワークシステムの設置、保守等の工事業

主要グループ会社	主要製品・事業内容
南海電設株式会社	情報通信ネットワーク事業、電気設備事業等

情報通信ネットワーク事業



電話設備、放送設備、セキュリティ設備、LAN配線などの通信設備工事



その他

- ・ EV・PHEV用充電スタンドの保守・メンテナンス
- ・ 緊急地震速報設備の設置、配信サービス、メンテナンス

など

電気設備事業



受電設備、計装設備、照明設備、電源コンセント、空調設備等の電気設備工事

事業セグメント：電子部品関連事業

2019年3月期
通期

■ 電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
北川工業株式会社	電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売

電磁波環境コンポーネント

電磁波による電子機器の誤作動防止などを目的とする電子部品の製造、販売

【フェライトコア】



【ケーブルシールド】



精密エンジニアリングコンポーネント

プラスチックファスナー等の各種機器機構部品や生産性向上に貢献する熱・振動・衝撃・騒音への対策部品等の製造、販売

【クランプ】



【バンド】

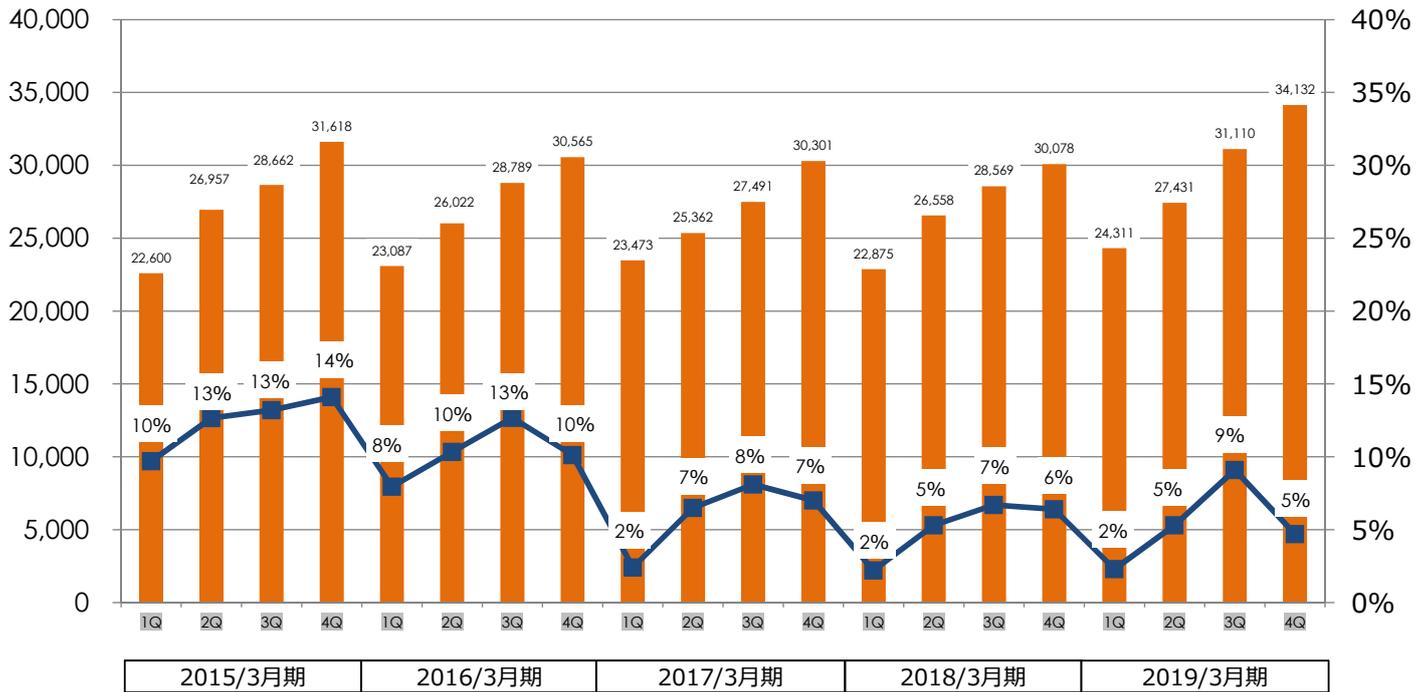


連結売上高の推移（四半期）

2019年3月期
通期

(単位：百万円)

■売上高 ■営業利益率



セグメント別 売上高の推移（四半期）

2019年3月期
通期

■配電盤関連製造事業 ■情報通信関連事業 ▲工事・サービス事業 ●電子部品関連事業

(単位：百万円)

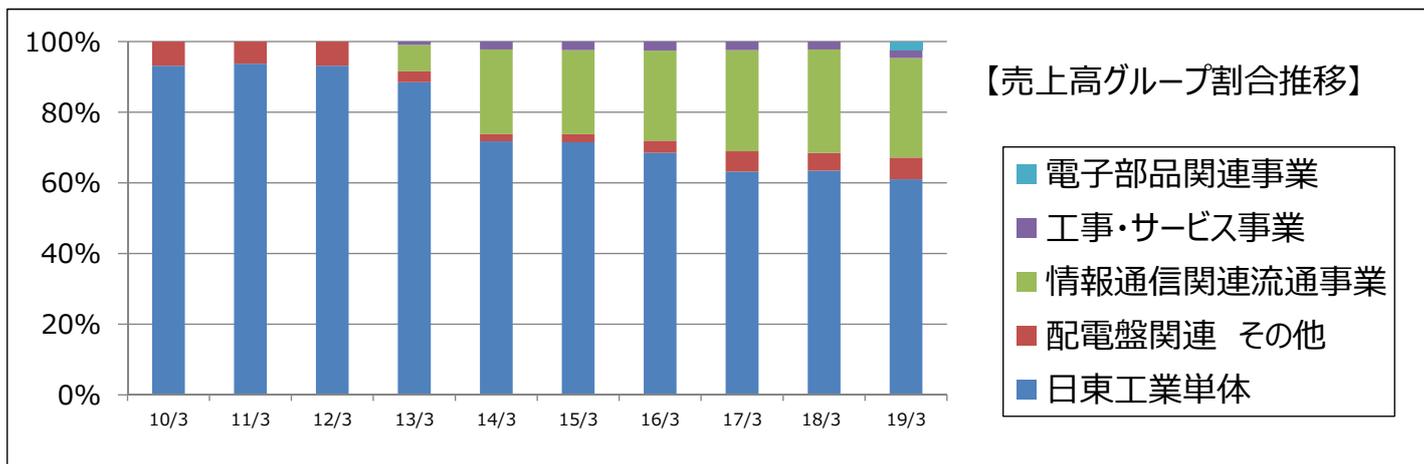


グループ連結状況（2017/3月期～）

2019年3月期
通期

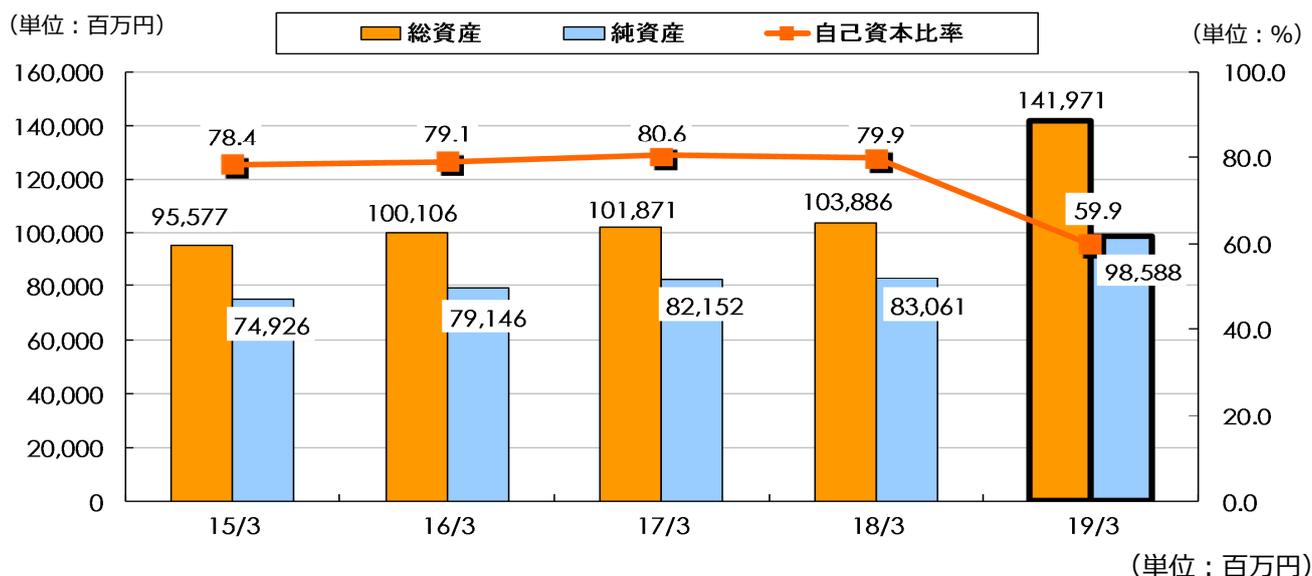
【子会社 連結時期】	2017/3月期				2018/3月期				2019/3月期			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
Gathergates Group Pte Ltd	■				■				■			
株式会社ECADソリューションズ	■				○ ■				■			
北川工業株式会社	■				■				■			

○:B/Sのみ連結



総資産・純資産・自己資本比率

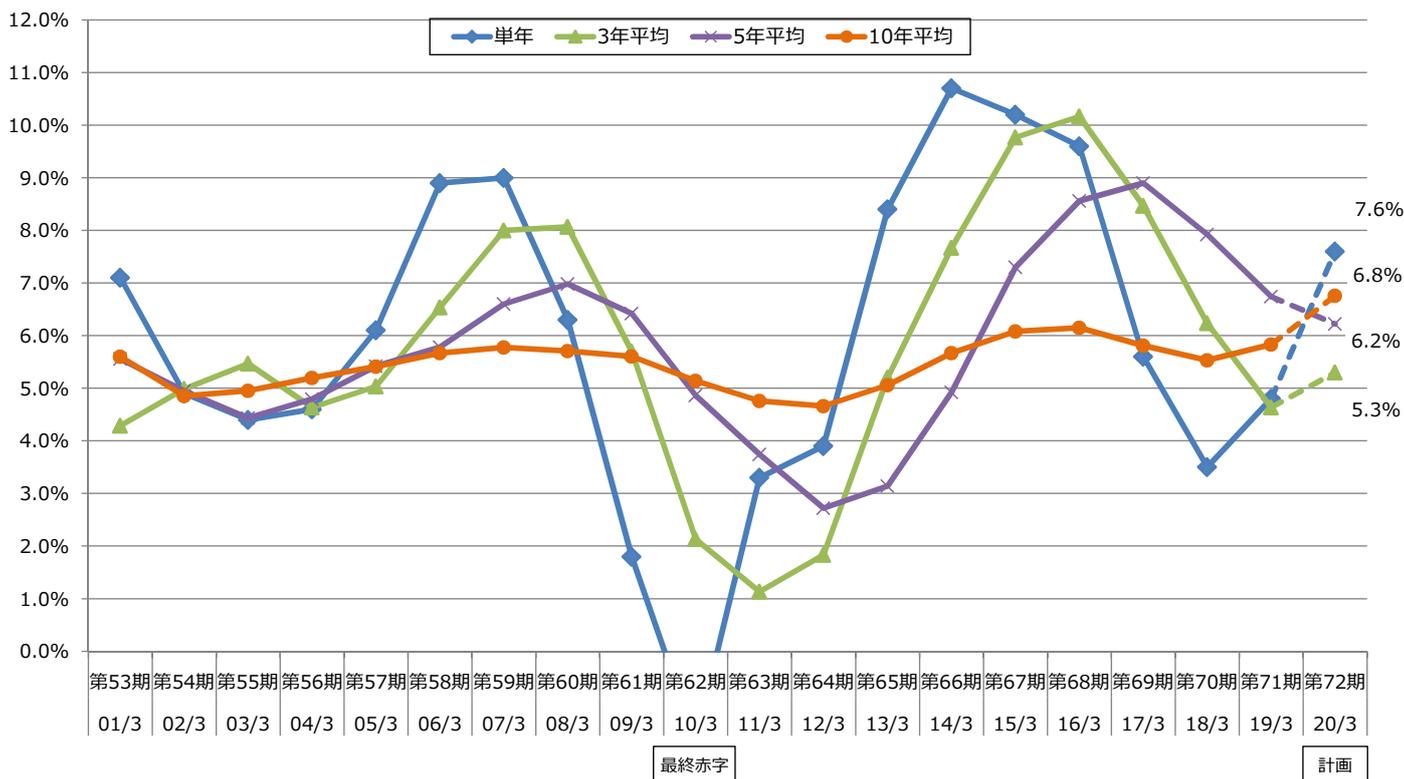
2019年3月期
通期



	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3
総資産	95,577	100,106	101,871	103,886	141,971
純資産	74,926	79,146	82,152	83,061	98,588
自己資本比率	78.4%	79.1%	80.6%	79.9	59.9

ROE(自己資本当期純利益率)の推移(連結)

2019年3月期
通期

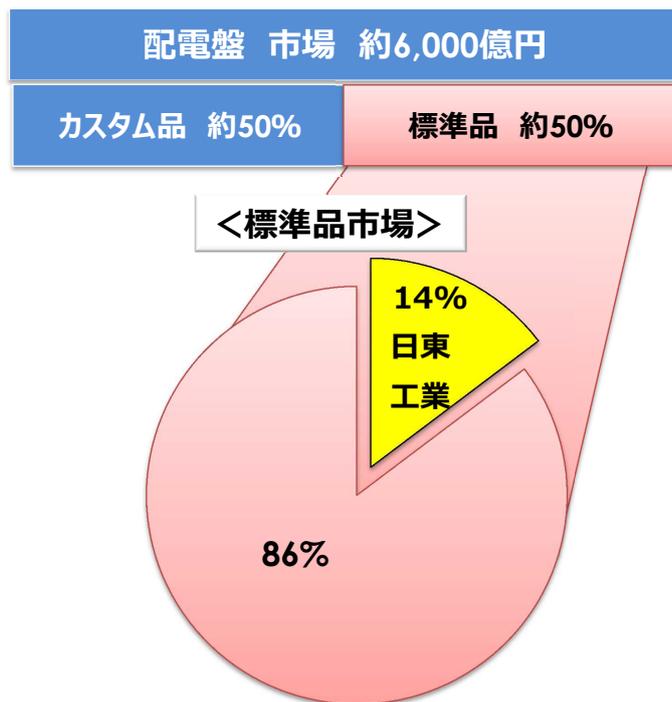
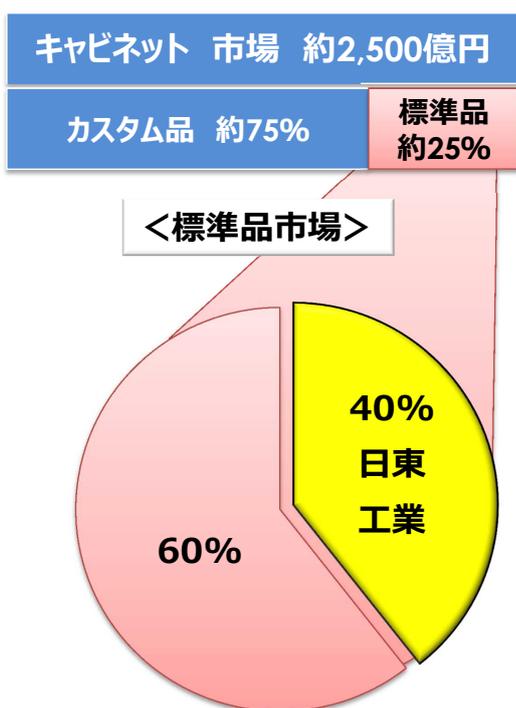


【事業領域とシェア】

経済産業省「生産動態統計調査サービス」等
に基づく当社推定値

2019年3月期
通期

標準品市場でキャビネットはシェアNo.1！配電盤はシェアNo.2！（※）

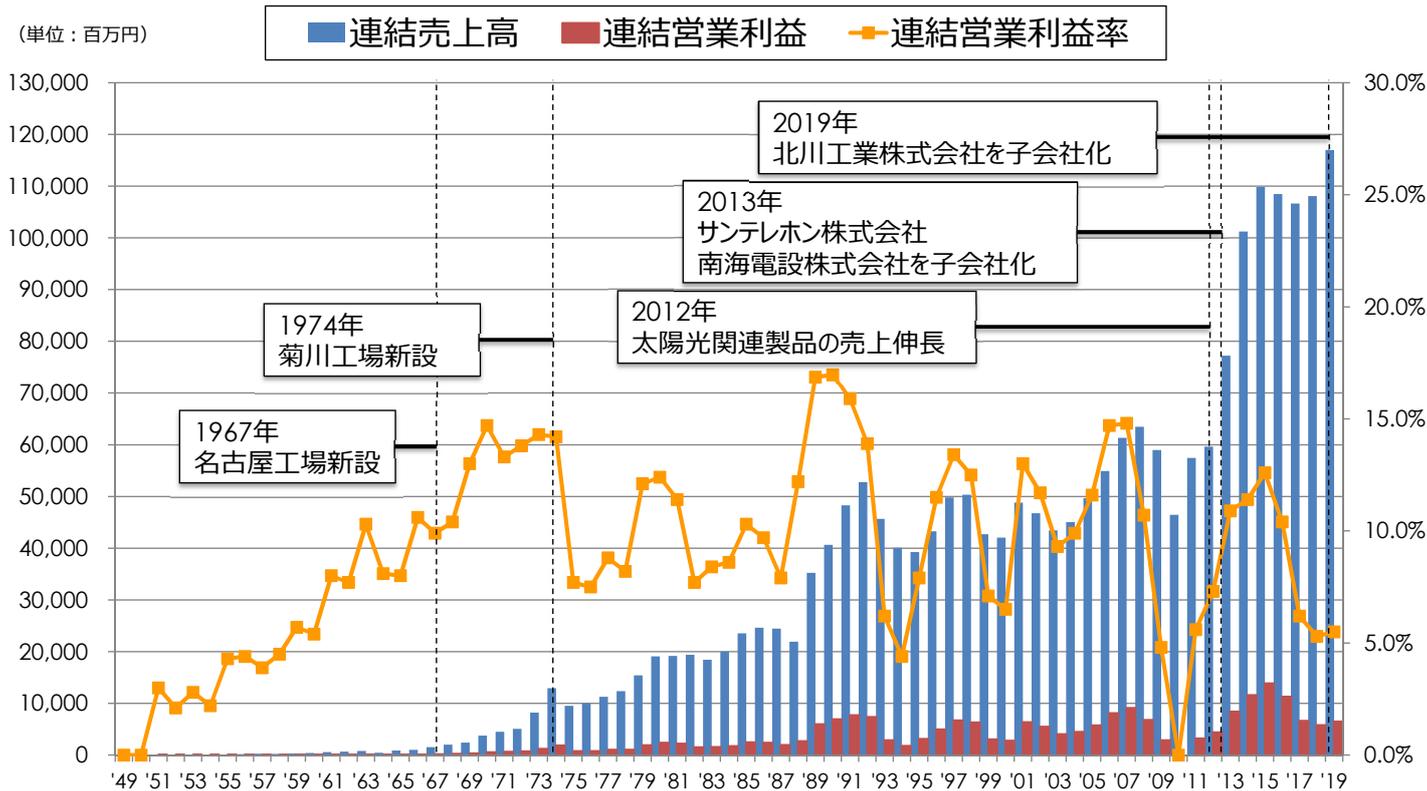


※キャビネット市場にシステムラック、配電盤市場に光接続箱を含む

業績推移 設立～現在

2019年3月期
通期

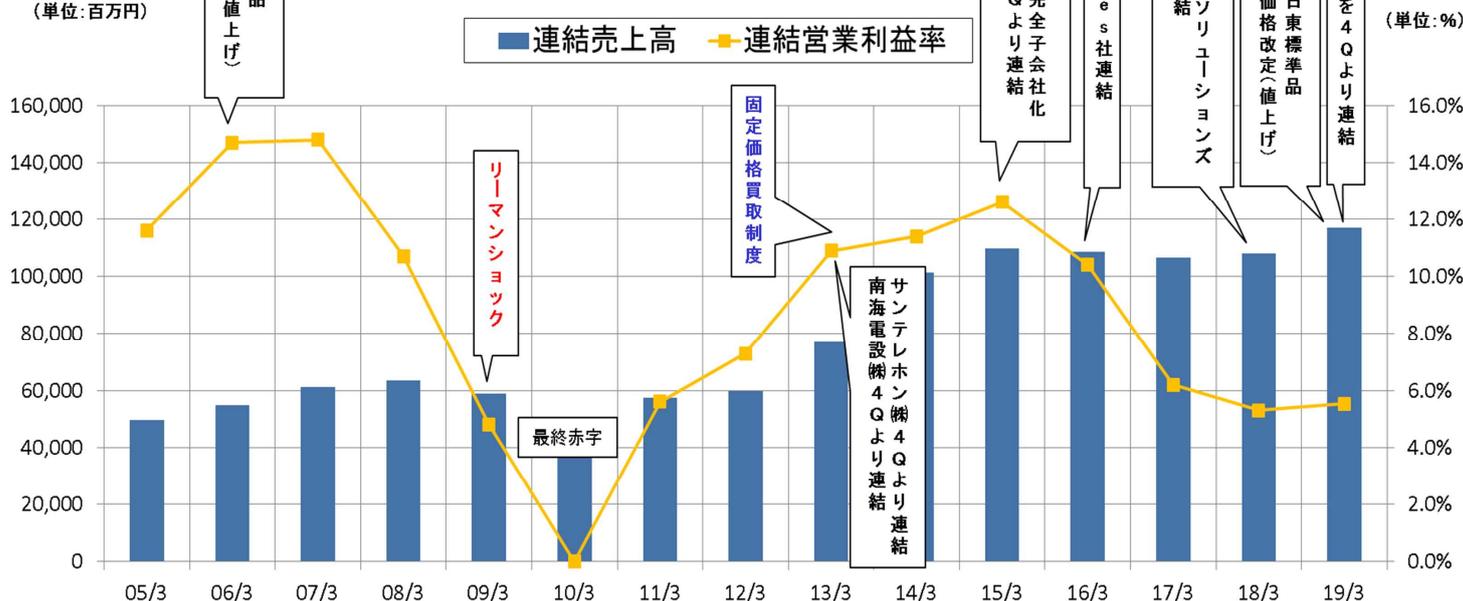
(単位: 百万円)



業績推移 2005/3月期～現在

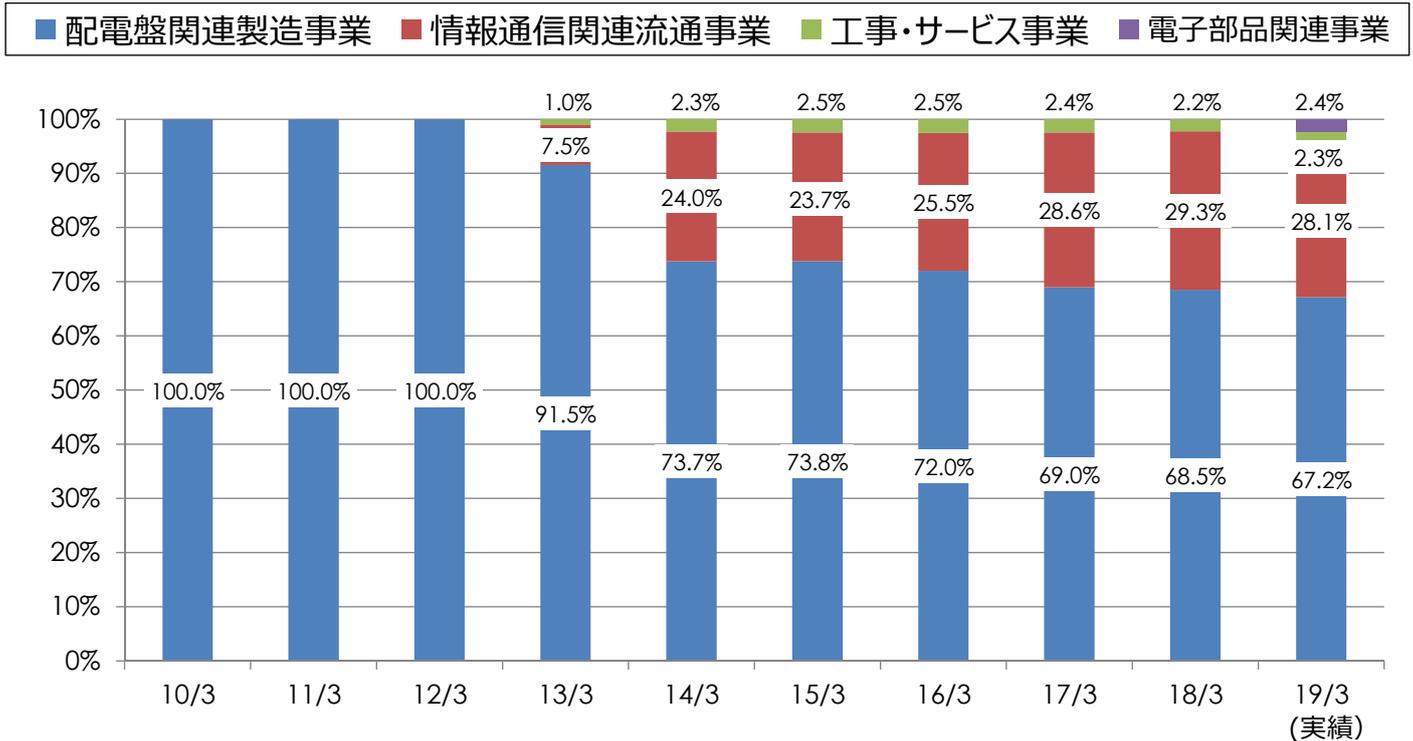
2019年3月期
通期

(単位: 百万円)



事業セグメント別 売上高構成比

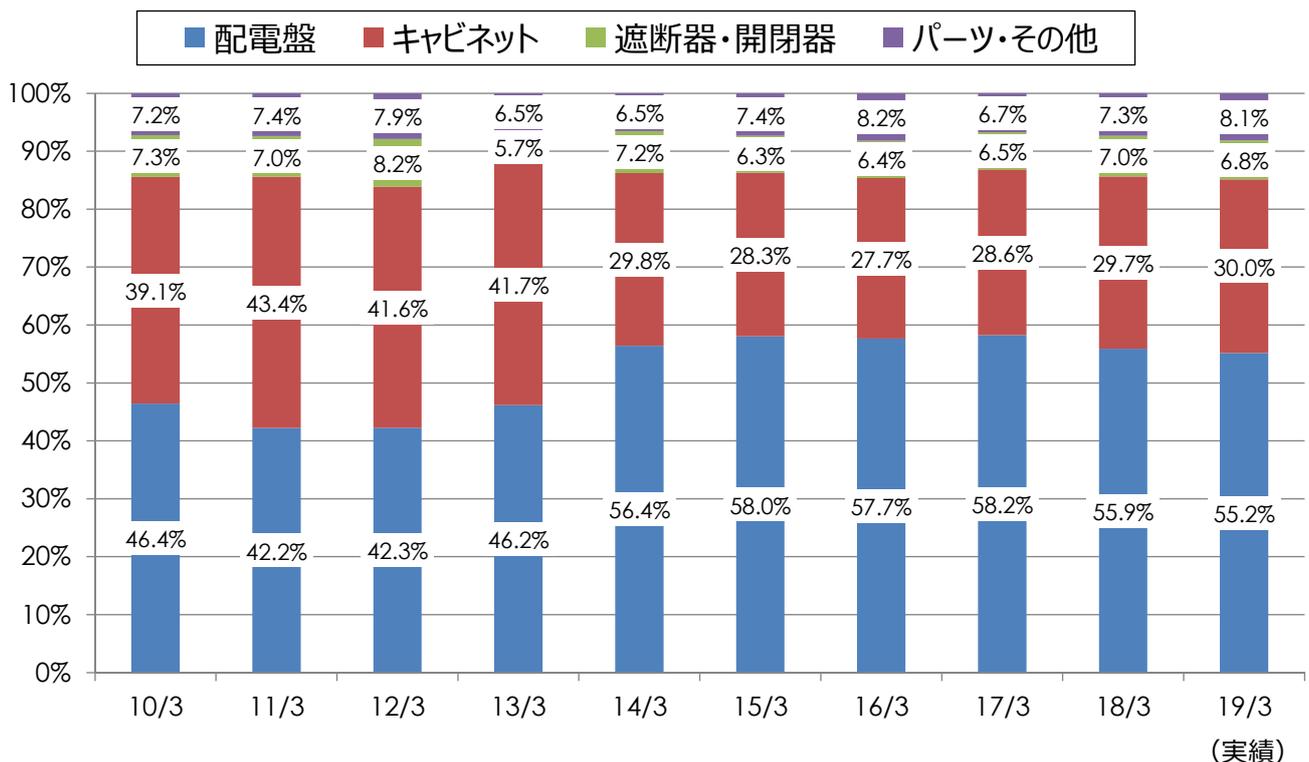
2019年3月期
通期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

配電盤関連製造事業 (部門別売上高構成比率)

2019年3月期
通期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

電気自動車用充電スタンド

急速充電
(当社非対応)

普通充電

日東工業の事業領域

【パブリック用】

【ご家庭・プライベート用】

EVC2

Pit



EVR

トヨタホーム
オリジナル

